

議会 だより



令和6年7月19日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.238

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
古紙配合率80%紙

高松の丘を音楽の丘に(上郷) ～一流の音楽に触れ地域を支える人づくり～



第2回定例会.....2P
ズバリ市政を問う(一般質問).....4～6P
委員会.....8～11P

令和6年

第2回 定例会

5月21日
～
6月21日
開催

定例会のあらまし

第2回定例会開会日に、執行機関側から「専決処分承認を求めることについて（飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について）」など報告案件19件、「公平委員会の委員の選任について」など人事案件7件、「飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件8件、「土地の取得について」など一般案件2件、「令和6年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案」など予算案件3件の計39件の議案の上程がありました。

中日には、「飯田清掃株式会社」の経営状況を説明する書類の提出について」の報告案件1件、「工事請負契約の締結について（道の駅遠山郷改修建築工事）」など一般案件3件、「令和6年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案」の予算案件1件が上程され、各委員会に付託されました。

また、閉会日には、「工事請負契約の締結について（学校施設環境改善交付金事業上郷小学校長寿命化改良建築工事）」の一般案件1件が上程され、本会議を休憩し、社会文教委員会で審査を行いました。

人事案件については、開会日に同意し、報告案件のうち議会の承認を求める4件についても、開会日に承認しました。そのほかの案件については、各常任委員会での慎重な審査を経て、最終日の審議でいずれも原案のとおり可決しました。

その他、第3回定例会までの議員派遣についても決定しました。

議案に対する質疑と審査

人事案件以外の議案が総務、社会文教、産業建設、予算決算の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

委員会での質疑等の内容は、8ページからの常任委員会のページで、その一部を紹介いたします。

議員及び委員会提出議案について

【発委第2号】

飯田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

令和6年度は、市の総合計画である「いいだ未来デザイン2028」中期4年間の評価、及び後期計画の策定に向けた大事な年となります。

これまで、予算決算委員会において「議会による行政評価」に取り組み、市の総合計画に対する評価及び提言を行ってきましたが、

この運用を明確化するため、予算決算委員会の所管に「基本構想に関する事項」を加える、飯田市議会委員会条例の一部改正を行いました。



可決した意見書（議案順）

発委第3号

へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書（請願第1号に関連）

【提出先】長野県知事、長野県議会議長

発委第4号

さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保及び義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書（請願第2号に関連）

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

定例会の審議結果や本会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会中継」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>



開会日QRコード



閉会日QRコード

予算決算委員会

予算決算委員会
及び分科会における
予算議案の審査の
様子は、YouTubeで
動画配信しています。



定例会開会日の5月29日の本会議で、令和6年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案をはじめとした令和6年度補正予算案にかかる予算議案4件が予算決算委員会に付託された後、予算決算委員会前期全体会において総務・社会文教・産業建設の各分科会へ分担し、6月5日から10日にかけて審査を行いました。

6月19日に開催した予算決算委員会後期全体会において、各分科会の審査について、座長報告を受け、議案審査を行い、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

準備会から政策会議へ

予算決算委員会では、これまで同委員会内の「準備会」において、付託を受けた議案等について、総務、社会文教、産業建設の各分科会間の調整に関する事項等を協議してきましたが、予算・決算関連議案に加え、その他の議案等の政策的課題に対応する必要があることから、新たに設置した「政策会議」に移行します。

分科会の審査の様子は、8ページからの各委員
会ページをご覧ください。

「住民自治を考える学習活動」の一環として研修会を開催

飯田市は昭和12年の市制施行以来、昭和と平成に6回の合併を繰り返し、現在20地区で構成しています。

それぞれの地区に「ムトスの精神」が息づいており、文化・歴史・風土等を背景とした特色ある地域づくりが実践されていますが、コロナ禍を経る中で地域活動がまだまだ回復傾向にない状況も見受けられます。

また、人口減少や社会構造の変化等から、地域活動における負担感や役員の成り手不足などの課題が顕在化してきています。

こうした背景から、昨年の第4回定例会の代表質問において、「飯田市自治基本条例」の基本理念である「協働のまちづくり」や自治基本条例を

市民と共に作り上げてきた過程を学び直すことで、条例に規定している「ムトスの精神」を次の時代に引き継ぐことができるように原点回帰を促す政策的な議論



平澤講師による研修会の様子

がなされました。

このような議会での議論や、能登半島地震での災害を踏まえ、飯田市においては、令和6年度の当初予算の概要で、「地域のつながりと防災力の向上」を重点項目の一つに掲げ、飯田市自治基本条例の学び直しの取り組みを全市的に展開することとしています。

今回の研修は、その学び直しの一環として、議員と20地区に配置されている自治振興センターの所長を対象に開催しました。

【期日】

令和6年5月1日(水)

【テーマ】

地域自治組織導入の経過と

今日的課題について

【講師】

平澤和人氏(元飯田市企画課長)

講師からは、2000年の地方分権一括法の関連で地方自治法も大きな改正が行われたこと、地域自治組織導入には、「住民自治の重視」や「個性豊かで魅力ある地域づくりの推進」、「各種団体や行政の支援体制の再編と連携協力による総合的な地域づくりの推進」等の意味合いがあったなど、当時の経緯を説明いただきました。

今後も「学び直し」の研修会が計画されています。地域づくりの在り方を考える上で、議会も積極的に関わってまいります。

震災時の竜東地区の水道の 復旧計画はどうなっているか

橋 爪 重 人 議員（新政いいだ）



Q 妙琴浄水場からの水管が損傷した場合には、別系統から供給することは可能か。該当地区への対策の現状は。

A 竜東地区の妙琴浄水場系のうち、龍江地区で2か所、下久堅地区で1か所、隣接する浄水場区域と系統間の接続をしている。接続した浄水場の能力には限界があり、流量の少ない区域末端の管路接続であるため、竜東地区全てを別系統に切り替えることは難しい。現状は給水車による応急給水と水管橋の歩道部への仮設配管による応急復旧を想定している。

ズバリ！ 市政を問う

第2回定例会の一般質問の概要を紹介します。
（14名・質問順） ■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



市の窓口対応について

古 川 仁 議員（日本共産党）



Q 市民から窓口対応への不満を聞くが、組織の責任者としての市長の考えは。

A サービス向上に必要なものは、顧客満足と従業員満足の2つの側面があり、これらは相關関係にある。市民からの満足が十分に得られていないとすれば、そこには職場環境の問題が潜んでいると考えられる。職員配置をはじめとする組織体制及び職場環境を整備する責任者としての役割をしっかりと果たしていく必要があると考えている。

人口減少社会でも 住み続けたい飯田市について

小 平 彰 議員（新政いいだ）



Q 若年女性が住みやすく働きやすい環境づくりをどのように進めているか。

A 女性にとって住みやすい地域社会を目指し、女性起業家養成講座の開催や個別の伴走支援を行っている。

昨年実施した調査では、子育て中の女性の約60%が短時間勤務を望んでいるとの結果が出た。女性の働き方の選択肢を広げることが、魅力的なまちづくりの一要素と考え、今年度初めて自営型テレワーカー（イイテレワーカー）養成講座を開催する。

能登半島地震の教訓から、 住宅耐震化をどう進めるか

山 崎 昌 伸 議員（新政いいだ）



Q 補助金の増額をはじめ、耐震化を進めるための施策展開の財源として、ふるさと納税を活用してはどうか。

A 寄附者が選択できる寄附金の使い道は、いいだ未来デザイン2028中期計画の基本目標のうち、寄附者に応援していただけたような取組を中心に設定している。寄附者へのPRとなり、応援していただくためにも「安全・安心に暮らせるまち」に関しても寄附金の使い道として設定することを検討してまいりたい。

■コロナ対応の振り返りと検証について

児童生徒の運動能力・ 体力の向上について

岡 田 倫 英 議員（会派きぼう）



Q 運動能力の二極化対策を考える中で、測定評価が高くなかった児童生徒の割合と課題認識は。

A 体力テストの総合評価を見ると、飯田市は評価の低い（A）と、Eの5段階中D又はE）女子の割合が高く、全国平均と比較して小学生は4・6ポイント、中学生は7・1ポイント上回っている。評価の低い児童生徒に着目することが必要と認識しており、そのような児童生徒が「運動が好き、楽しい」と感じられるようにしていきたいと考えている。

いいだ未来デザイン 2028 後期計画
策定の中にDXをどう位置づけるか

小林 真一 議員 (公明党)

A DXは目的達成の手段であり、横串を通していろいろな分野に関わることが必要と考えている。それぞれの基本目標へのアプローチにおいて、デジタル技術をどう活用するかが今まで以上に重要になってくる。基本目標の一つに位置づけるよりは、横串として全分野に横断的に関わることになると思うが、どう計画に位置づけるかはもう少し検討したい。



持続可能な地域公共交通、
環境にやさしい移動手段とは

福澤 克憲 議員 (会派きぼう)

A 観光利用としては、電車に自転車車をそのまま積載できる専用車両の運行や積載スペースの確保についてJR東海への要望を行った。通勤通学利用としてはさまざまな課題があり、電車のみならずバスや乗り合いタクシーと自転車車を組み合わせた移動手段を含め、今後、交通事業者とともに研究を進めていく。



Q 電車、路線バス、乗り合いタクシーと自転車車を組み合わせ、利用者の利便性を高める考えは。

リニア中央新幹線の開業を
見据えた都市間交流について

永井 一英 議員 (公明党)

A 品川区はリニアで結ばれる特別な場所になりうる。交流を通じて、関係人口を作り、将来的に移住や二地域居住などにつながっていくことを期待している。リニア開業は少し先になるが、開業後も交流が途切れないよう継続し、つながりを深めていきたいと考えている。また、未来のご近所として、震災発生時などに互いに助け合える関係を構築していきたい。



地域共生社会とこれからの
PTAの在り方について

市瀬 芳明 議員 (日本共産党)

A 飯田コミュニティスクールに学校運営協議会という協議の場があることで、各構成団体の役員の交代があっても、学校と地域の関係をより良好にし、学校の方針や課題についての情報共有が進み、学校活動へ地域の協力が得やすくなる等の成果がある。地域住民と保護者の協働が進むよう、様々な機会を通じて情報発信等に努めてまいりたい。



Q 地域共生社会を意識したとき、保護者と地域住民の連携についてどのように考えるか。

A I 時代へ子どもの
「読解力」をどう育むか

宮脇 邦彦 議員 (公明党)

A 教科書は、学習指導要領のねらいをふまえた学習に最も適した教材であり、その視写、聴写及び音読は、読解力を高めるために重要な取り組みと理解している。「教科書を教える」ではなく「教科書で教える」ことを基本とし、探求的に学ぶことと、知識・理解を深めることの双方を兼ね備えた有効的な活用を進めていく。



燃やすごみの減量へ向けた
生ごみの処理方法について

木下 徳康 議員 (新政いいだ)

A 燃やすごみの組成調査では、その約4割が生ごみと推定できる。環境文化都市宣言及びオーガニックビレッジ宣言をしている市として否定するものではないが、分別収集には収集運搬面の課題もある。生ごみの減量には、家庭でのリサイクルをはじめとする「小さな循環」など分別収集以外にも有効な手法があり、分別収集のみが理想とは考えない。



Q 焼却炉の発電効率を高めるために、生ごみを分別収集し、リサイクルすることが理想と考えるがどうか。

今後 10 年間の財政見通しと 財政運営目標について



原 和 世 議員 (会派みらい)

A 財政見通しは今後の財政運営を検討するための「ものさし」であり、財政計画とは異なる。今後、市民サービスの低下や基金の枯渇が起これるということを表すものではない。一方で、これまでどおりの事業を漫然と進めていくことはできないという危機感は当然持っており、事務事業の抜本的な見直しや各種長期計画について見直しを行っていく。

Q 財政見通しでは、財政調整基金が令和11年度に底をつくことになるが、市長はどのように受け止めているか。

飯田市美術博物館を 取り巻く状況は



関 島 百 合 議員 (会派みらい)

Q 近代日本の成り立ちに深く関わった飯田出身の田中芳男を、市民が身近に感じられる取り組みは。

A NHKの朝のドラマに田中芳男をモデルにした人物が登場するなど、徐々に全国区になってきている。田中芳男は飯田市が誇る人物であり、その業績は自然科学から美術まで多岐にわたる。出前授業も検討したいが、昨年度に多くの資料の寄贈を受けており、まずは児童生徒に美術博物館に来てもらい、関連資料を生かして田中芳男を伝える取り組みを進めたい。

持続可能な地域自治について



清 水 優 一 郎 議員 (新政いいだ)

Q 地域社会を取り巻く環境変化を踏まえ、これからの地域づくりにおける行政の役割は。

A 地域自治の当事者は住民。まちづくりの主体は住民であり、住民が自らの住む地域を良くするために考え、行動することをサポートするのが行政の役割。時代の変化により行政の関わり方が変わっていくこともあるかと思うが、本質は変わらないと考える。

- 地域防災力の維持・強化について
- 小・中学校の教育環境の充実について
- 市総合計画の基本的な考え方について

請願・陳情の手続きについて



行政に対する要望等は、請願または陳情という形で、国や県・市などに提出することができます。

飯田市議会に提出されたものは、本市議員の紹介があるものを「請願」、本市議員の紹介のないものを「陳情」として区分しており、そのいずれも、一部のものを除き、委員会では審査し、本会議において採択・不採択等を決定します。

【提出方法】

請願書または陳情書に、提出者の住所（法人の場合には所在地及び名称）を記載し、提出者（法人の場合は代表者の氏名）の署名ま

たは記名押印をして、飯田市議会事務局へお持ちください。

請願には、1人以上の本市議員の紹介が必要です。請願書の表紙に、紹介議員の署名または記名押印をしてください。

陳情については、次の要件をいずれも満たしたものが委員会審査の対象となります。

① 陳情書を提出する者の住所が飯田市内にあること

② 飯田市議会事務局の窓口へお持ちいただくことにより提出された陳情書であること

【提出時期】

常時受け付けていますが、直近の定例会で請願及び陳情の審査を希望される場合は、告示日の5日前（市の休日を除く）の午後5時までに提出してください。

【受付時間】

飯田市の休日を除く午前8時30分から午後5時まで

【受付後の取り扱い】

提出された請願及び陳情は、担当する委員会では審査され、結論が出たものは本会議において採択・不採択等を決定します。この決定は請願者または陳情者に通知します。

採択となったもののうち、市長等の執行機関に属するものは当該執行機関に送付し、その処理結果等についての報告を求めます。また、議会の権限に属するものには必要な措置を講じ、国県その他の外部機関に対して意見書の送付を求めるものについては、関係機関へ送付します。

議会日程の見直しについて

令和6年飯田市議会第2回定例会から議会日程を変更しました。

【変更点】

①定例会開会日後に行っていた一般質問の受付、聞き取り及び市長への通告を、開会日前に移行

②定例会の会期日数の拡大（これまでの会期と比較して最大5日間拡大の会期あり）

【経緯】

飯田市議会が現在の議会活動を「自己点検」し、さらなる改革を目的に導入した「地方議会成熟度評価モデル」の取り組みを通して、「議会日程の最適化」が検討課題の一つに挙げられました。

その背景として、従前の会期では一般質問の日程と議案審査の日程との間に余裕がなく、「議案に向き合う時間が十分に確保できていないのではないか」といった問題意識が評価モデルの取り組みから導き出されたことによります。

【議事日程の最適化に向けて】

一般質問の受付等の時期の見直しにより、会期中の議事運営等にも若干の変更が伴いました。令和6年度中は試行的に取り組むこととしていることから、毎定例会後には会派や常任委員会、議会運営委員会において状況を振り返り、必要に応じてさらなる見直しを図ります。

議会による行政評価について

「議会による行政評価」は、議決事件とした基本構想基本計画「いいだ未来デザイン2028」の進行政管理に關与し、議会としての責任を果たす目的で行っています。予算決算委員会の所管事務調査として、基本目標ごとに評価・検証を行います。

また、「議会による行政評価」を「いいだ未来デザイン2028」の基本目標と連動し、4年間の政策サイクルで捉え、①初年度審査、②中間期審査（2・3年目）、③最終年審査の3段階に分けて審査を行います。令和6年度は、中期計画4年間の最終年審査にあたります。総務・社会文教・産業建設の各分科会において、原則、中期計画4年間の評価に取り組み、執行機関に対して後期計画策定に向けた提言を行います。

行政評価の日程

ステップ1	執行機関からの説明①	7月22日(月)、23日(火)
ステップ2	戦略計画に対する個々の議員による評価	7月29日(月)提出期限
ステップ3	分科会による意見集約	8月5日(月)、6日(火)
ステップ4	分科会での検討経過確認	8月9日(金)
ステップ5	進捗状況の確認と執行機関からの説明②	9月6日(金)
ステップ6	評価提言内容の取りまとめと執行機関との意見交換	9月12日(木)～24日(火)
ステップ7	提言内容の調整と全体会での確認	9月26日(木)、27日(金)
ステップ8	提言	9月30日(月)
ステップ9	ステップ7までの振り返り	別途調整
ステップ10	後期基本計画の議決	令和6年第4回定例会
ステップ11	当初予算案の審査	令和7年第1回定例会
ステップ12	行政評価全体の振り返り	別途調整

議会報告・意見交換会は、飯田市自治基本条例に規定されている「開かれた議会運営」、また、「議会への市民参加の推進」を果たすための取組と位置付け、市民の皆さんの声を政策づくりに反映していくことを目的としています。今年度も、各地区まちづくり委員会との共催により開催します。

ブロック	地 区	開催日	会 場
遠 山	上村 南信濃	10月 3日(木)	上村コミュニティセンター
中 部	松尾	10月 4日(金)	松尾公民館
	鼎		鼎公民館
西 部	山本 伊賀良	10月 7日(月)	伊賀良公民館
北 部	座光寺 上郷	10月 8日(火)	上郷公民館
南 部	竜丘 川路 三穂	10月 9日(水)	竜丘公民館
竜 東	下久堅 上久堅 千代 龍江	10月10日(木)	下久堅公民館
飯田5地区	橋北 橋南 羽場 丸山 東野	10月11日(金)	飯田市役所

令和6年度議会報告・意見交換会を開催します

総務委員会

6月5日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

総務委員会に付託となった議案1件「飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について（議案第54号）」について、慎重に審査を行った結果、原案のとおり可決することに決定しました。

ここでは、予算決算委員会総務分科会担当の議案審査の中での、主な質疑の内容をご紹介します。

《予算決算委員会 総務分科会》
議案第64号 令和6年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案

令和6年所得税・住民税定額減税の調整
給付について

Q 定額減税について、一部報道では年内控除が間に合わない自治体があると言われているが、市の見通しは。

A 住民税の普通徴収については、年4期ある納期において、6月の第1期分の税額から控除し、第1期分から控除しきれない場合は、第2期分以降の税額から順次控除する

形で実施する。特別徴収については、各事業所に対応することになるが、7月以降、令和7年5月にかけて、定額減税後の年税額を均（なら）して納めていただくという流れで進んでいる。

Q 国税に対してはどのような対応をしているか。問い合わせがあった場合に、どのような対応をしていくか。

A 正確なことは国に確認いただくことになり、国税の前年のデータを所有しており、調整給付金を算定することがあることから、問い合わせがあれば説明していく。



Q 調整給付金の対象人数を2万人とした根拠は。

A 住民税の昨年度の状況から推計した。国から所得税に係るシステム等が供給されているので、今後さらに精査して対象人数を確定していく。

総務委員会が所管する事務事業の管内視察を実施しました



小沢川小水力発電取水地点での現地説明と意見交換

実施日▷令和6年4月15日
調査項目（視察先等）

- ①小沢川小水力発電事業（上 村）
- ②移住定住推進事業の取組（下久堅）
- ③風の学舎によるゼロカーボンの取組（下久堅）
- ④飯田市消防団第13分団本部消防詰所（千 代）
【消防施設整備事業】
- ⑤自衛防災組織「防災川路」の取組（川 路）

社会文教委員会

6月6・21日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

飯田市国民健康保険税条例の一部を改正
する条例の制定について（議案第57号）

地方税法施行令の改正により課税限度額の引き
上げ及び低所得者に係る軽減判定所得の見直しを
行うため、条例の一部を改正しようとするもの

Q 国保の加入者数は、令和5年度から令和
6年度の加入者数の減少が大きい、理
由を分析しているか。

A 団塊の世代の加入者が後期高齢者医療に
移行したことが大きな要因と認識してい
る。

Q 被保険者が減っていき、一人当たりの医
療給付額が増える場合、今の税率のまま
だと運営が困難になり国民健康保険税の引
き上げを行うことになるか。

A 現時点では、必ずしも加入者が減ったか
ら、一人当たりの医療費が増加するとは
考えていないが、今までの推移を見たとき
に、やはり近い将来には、税率の引き上げが
必要になると認識している。

工事請負契約の締結について（学校施設
環境改善交付金事業上郷小学校長寿命化
改良建築工事）（議案第71号）

議会の議決に付すべき契約に該当する上郷小学校長
寿命化改良建築工事の契約締結を行おうとするもの

Q 実際の工事期間をどのように考えている
か。

A 校舎内の工事は、長期休暇に合わせて行
い、校舎の外回りの工事は、長期休暇以
外でも行う予定がある。

《予算決算委員会 社会文教分科会》
議案第64号令和6年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案

地域子育て支援事業 遊具の設置について

Q りんご庁舎に遊具を設置するというこ
とだが、どこに設置する予定か。

A 2階のファミリースペースを予定してい
るが、現状ではいろいろな年代の方が利
用している。遊具を設置しても引き続き利用
できるように考えたい。

Q 設置する遊具は、対象年齢をどのように
考えているか。

A 遊具の選定は、保育士等と相談しながら、
ファミリースペースに来られるお子さん
の年齢を考慮し、幼児から小学生を対象とす
る遊具の購入を検討したい。

高齢者予防接種事業について

Q 個人に対する助成だが、病院や高齢者施
設に対してこのような助成は検討してい
るか。

A 現在のところ、医療機関や高齢者施設に
対する助成の予定はない。

令和6年 請願第1号

県に対し、「へき地教育振興法に
鑑み、へき地手当等支給率を近
隣県並みの水準とすること」を
求める意見書を提出願いたい

審査結果 : 採択

令和6年 請願第2号

国に対し、「さらなる少人数学級
推進と教員増のための教育予算
確保」及び「義務教育費国庫負
担制度の堅持・拡充」を求める
意見書を提出願いたい

審査結果 : 採択

4月16日に管内視察を実施しました

「我がまちで子育てを支えていくためには」を所管事務調査のテーマと
しているため、主に関係する施設の視察を実施しました。

放課後デイサービス「ローリエ」➡認定こども園野あそび保育みっけ
➡飯田市こども発達支援センターひまわり➡市立病院長との懇談➡飯伊
圏域障がい者総合支援センター「ほっとすまいる」➡天龍峡テニスコート
（夜間照明）➡明星児童クラブ



ローリエ



野あそび保育みっけ

産業建設委員会

6月10日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

飯田市農業集落排水処理施設条例及び飯田市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第59号)

Q 下殿岡地区の排水処理施設を廃止統合した施設の処理能力は足り得るか。

A 施設の改修や増設をすることなく、十分な処理能力を有していることを検証している。

Q 施設統合に伴い、管路接続のための工事の進捗状況は。

A 当初の事業計画を1年前倒し、工事に着手している。令和8年度末に、接続工事及び運転調整を完了する予定である。

飯田下水道条例の一部を改正する条例の制定について (議案第60号)

Q 条例改正により、業務内容に何か影響があるか。

A 業務的に変わる点はないと考える。

財産の取得について (議案第63号)

Q 取得するポンプ設備の年間の維持管理費はこれまでと比べてどうか。

A 既有ポンプの管理費と同程度を見込んでいるが、有事の際の作業員の負担軽減や迅速性が図られる。

Q 契約相手方の選定にあたっての経緯は。

A 排水ポンプ車、電気駆動、油圧駆動の3形式から検討を重ね、油圧駆動式を採用。市内事業者を指名し、入札により選定した。

工事請負契約の締結について (道の駅遠山郷改修建築工事) (議案第67号) 及び同機械設備工事 (議案第68号)

Q 昨年示された工事費に対して、増額となった理由は。

A 昨年、基本設計段階の積算を示したが、その後の実施設計において、物価高騰、週休二日工事の導入等を要因に増額となっている。

Q 2年間の工期の契約額は、本年度当初予算及び債務負担の額の範囲に収まるか。

A 契約額は、当初予算及び債務負担の範囲内となっている。

損害賠償の額を定めることについて

(議案第69号)

Q 倒木の原因について調査しているか。

A 樹高が高く、根が張り難い地勢的な要因、降雨と強風が伴い倒木に至ったと推測する。倒木危険性樹木の判定基準や樹木医による点検をしているか。

A 具体的な基準はないが、枯れ木など目視により点検している。樹木医が所属する事業者指点検業務を委託している。

Q 事案の発生に起因し、全市的な点検や点検方法の振り返りなどの対応をしたか。

A 商業観光課が所管する公園以外の施設については、作業時の点検やSNSを通じた通報など年間を通じて管理している。天龍峡公園については、点検方法が十分ではなかったため、天龍峡公園の全てを再点検し、その報告を全庁的に共有している。

《予算決算委員会 産業建設分科会》

議案第64号令和6年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案

Q 操出基準の改正は、物価高騰を要因とするものか。

A 水道管路の耐震化を進めるため、物価高騰の影響により、平均事業費を管路更新率を用いる新たな基準に改正がなされた。

議案第66号令和6年度飯田下水道事業会計補正予算(第1号)案

Q 建設改良費増額分の管路の工事延長は。

A 既存の送水管をVP管からポリエチレン管に取り替える。工事延長は110メートルを予定している。

4月17日に管内視察を実施しました

◆視察先◆

金色洞(内水排除整備事業) → 南信州リゾート → 大原屋「なりわいオフィス」・スパイスの開発 → 南大島川橋(橋梁耐震整備事業) → 別府井戸 → 天龍峡パーキング「電気自動車用急速充電器」 → 天龍峡活性化センター「あざれあ」 → (仮称) 飯田山本インター産業団地予定地



南大島川橋



南信州リゾート

リニア推進 特別委員会

6月13日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

リニア駅前広場における3つのプロジェクトの報告について

リニア駅前広場整備事業の3つのプロジェクトにおいて、令和5年度に取り組んできた検討・進捗状況の報告がありました。主な内容は次のとおりです。

■次世代インフラプロジェクト

高架下空間を含めたリニア駅前広場に求められる機能やレンタカー・カーシェアリング、駐車場等のあり方について、コロナ禍や社会情勢等の変化を踏まえた検討を進めていくため調査を実施した。リニア利用の有無に関わらず飲食や物販のニーズが高いため、民間事業者との意見交換を通じ、高架下空間や駅前広場内に整備すべき内容を具体化して進めていく。

■トータルデザインプロジェクト

「飯田・リニアデザインノート」にある駅前広場空間の実現に向けて、木造大屋根の実設計への着手と、リニア駅周辺における景観のあり方について検討を進めてきた。令和6年度内に木造大屋根の実設計業務を完了させ、建築に必要な地域産木材の調達方法の検討を進めていく。

■公民協働ブランドクリエイティブプロジェクト

リニア駅前広場の魅力発信機能の充実や維持管理などを担う民間による管理運営事業体を組成するための検討を進めてきた。管理運営事業体に参画を希望する民間事業者が、事業内容や運営方法について検討するプラットフォームを構築し、駅前広場の活用について検討を進めていく。

Q 報告内容は、開業が遅れることが発表される前に取りまとめられたものだと思うが、正式に開業が遅れることが発表された中で、報告の内容にも何らかの影響が出てくるか。

A 今回の報告は、2027年の開業を見据えて令和5年度に進めてきた内容となっている。開業時期が遅れることになると、リニアを利用する人の流れに大きな影響が出てくると考えられる。また、仮に駅部工区の工事に遅れが生じてくると、駅前広場の整備にも影響が出ることで想定される。JR東海からどのような説明があるかによって、今後の進め方を検討する必要があると考えている。



駅前広場に設置される大屋根 イメージ図

Q 木造大屋根の実設計を令和6年度内に完了させると具体的な時期が示されているが、開業の遅れによって完了の時期に影響は出てくるか。

A 木造大屋根については、リニアの開業が遅れたとしても何も手をつけないとは思っていない。何かしらの活用をしていかなければならないと考えているが、具体的な活用方法についてはこれから検討していく。

Q 今後JR東海から受ける説明を飯田市としてどのような受け止め、どう検討していくかが重要であると考えている。飯田市としてどう受け止めたか、議会や市民にはいつ、どのような形で示す予定か。

A JR東海からどのような内容が発表されるか、示される内容によって対応が異なってくると考える。内容の発表があり次第、早急に検討し、できるだけ早い時期に計画をお示ししていきたい。

岐阜県瑞浪市井戸の水位低下について

岐阜県瑞浪市日吉町及び大湫町（おおくてちよう）にまたがる日吉トンネルの掘削工事で発生した地下水の水位低下の状況と、個人井戸の減水に対する対応等について報告がありました。あわせて、飯田市の井戸水の利用状況について、事前に対象地区へアンケート調査を行い、井戸水を生活用水として利用している家屋を把握していること、万が一異常が発生した場合も、応急措置として、速やかに上水道に接続ができるように対応していると説明がありました。

林業活性化推進飯田市議員連盟 飯田市育樹祭に参加

4月29日、林業活性化推進飯田市議員連盟（議員全員の22人が加入、会長木下徳康）のうち16人が、上郷野底山財産区有林で開催された飯田市育樹祭に参加し、飯伊森林組合の方々の指導のもと、植林作業を行いました。

作業した場所は、クマやシカなどによる剥皮の被害を受けた木を一帯的に皆伐した場所でした。こういった場所の植林は、水源の確保や災害に強い治山の面からも大変重要な作業だと感じました。私たちは作業というより体験をさせていただいたというのが正確な表現だと思います。日頃従事されている方々に敬意を表するものです。



また、森林はCO₂の吸収源として重要な役割を果たしています。森林を育てること、育てている方々の支援ができるよう、今後も連盟として活動していきます。

育樹祭には何組かのご家族の参加がありました。こういった場所での作業においてはトイレが課題となりますが、今回、トイレの設備を備えた多機能車両の用意（技研開発株式会社のボランティア）があり、参加者は安心して作業できたと思います。ご協力に感謝いたします。

議会の動き(予定)

■第3回定例会

8月30日(金)～9月30日(月)

◇一般質問（傍聴可能）

9月4日(水)、5日(木)

◇委員会日程（傍聴可能）

予算決算委員会前期全体会	9月 6日(金)
総務委員会	9月12日(木)、13日(金)
社会文教委員会	9月13日(金)、17日(火)
産業建設委員会	9月17日(火)、18日(水)
リニア推進特別委員会	9月20日(金)
予算決算委員会後期全体会	9月27日(金)

■議会への請願・陳情は、議会事務局へ

8月16日(金)午後5時までに提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻の着用、及びつえ、傘の類の携帯はご遠慮ください。病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長／岡田 倫 英	副委員長／山崎 昌 伸
委員／小平 彰	橋爪 重人
宮脇 邦彦	西森 六三
	関島 百合
	市瀬 芳明

表紙紹介

がんばっとるに!! 上郷

上郷公民館では、将来を見据えながら地域を支える人づくりを推進するためのふるさと学習活動や音楽活動に重点を置いた活動をしています。特に「高松の丘」を子どもから大人までが集う「音楽の丘」に育てたいと考え、音楽に関係する4事業を「音楽活動のパッケージ」として位置付けています。6月は地域の小学生や住民の方が一流の音楽に触れる機会として、プロの演奏者を招き「高松の丘音楽祭」や「岩崎洵奈ピアノリサイタル」を開催し、9月は「ふれあいさわやか音楽祭」、そして11月の「文化祭ステージ発表」と続きます。上郷地区の特徴であり強みであるこの活動により、地域のつながりを大切にし、リニア中央新幹線(仮称)長野県駅ができる上郷地区に文化資本があふれる地区でありたいと願っています。



【ピアニスト岩崎洵奈さんと実行委員のみなさん】